

高橋なおき



NAOKI TAKAHASHI



凜 RIN

自民党 Lib Dems
新潟県議会議員（新潟市西区選出）

vol.7

高橋なおき県政報告

■平成31年1月発行 ■編集発行：高橋直揮事務所

〒950-2022 新潟市西区小針1-30-2ジョイフル21-C

(HP) <https://www.naoki-takahashi.jp/> (e-mail) office@naoki-takahashi.jp

TEL.025-378-1615 FAX.025-378-1616

新潟県のために、 更に加速。

県と市の縦割り連携を見直すことから、
地域の経済力を強化させます。

本県PRをさらに力強く！
これまでにないPRを世界に広めます。

県内農産物の輸出を拡大させ、
魅力発信！インバウンドにつなげます。

幼児から高齢者まで、全世代が平等に
対応された福祉行政を推進します。

第4次産業革命において、全世代対応の
職業能力向上施策を進めます。

大きな取組みとして

- 新潟県いじめ対策ポータル設置を働きかけた結果、設置されました。
 - 新潟県いじめ電話相談、CMでの自殺防止啓発、その他拡充への働きかけの結果、事業が拡大されました。
 - 自殺予防の対策として、アルコール依存の前兆を見逃さないよう、県としての啓発活動を要望し、事業化されました。
 - 障害者スポーツアスリートを健常者のスポーツと同じ扱いにするよう訴えた結果、県のスポーツ課に障害者スポーツアスリート分野が移管されました。
 - 新潟県手話の普及等の推進に関する条例の制定
 - 新潟県特定野生鳥獣の管理及び有効活用の推進に関する条例の改正
 - 新潟県がん対策推進条例の制定
- その他、多くの取組みを現在も進めております。

所属委員会及び各種役職

- 新潟県議会 議会運営委員会 副委員長
建設公安委員会 副委員長
- (自由民主党新潟県支部連合会) 青年局長、広報委員長
- (自由民主党新潟支部) 幹事長

県議会

日本海横断航路問題の集中審議。当時の担当会社・県の担当部局に対し、真相解明について追及。6時間に及ぶ集中審議を行いました。現在、日本海横断航路計画は白紙となっております。



【県議会一般質問】【県議会連合委員会にて、知事に対し、一問一答の質問】2期目4年の間で8回の一般質問に立ちました。また連合委員会での一問一答でも質問に立ち、本会議場での質問回数は9回もの登壇数となりました。

海外派遣（ミャンマー・台湾・中国他）

ミャンマーの経済担当の大臣と意見交換。当日は7分野の大臣と新潟県との連携について議論を行いました。世界最後のフロンティアと言われる、ミャンマーの課題や相互の利益を目的とした輸出入、外国人労働者受入れ等についても議論を行いました。ミャンマーのテレビ局からも取材を受け、新潟県のPRにもつなげることが出来ました。



コンベンション誘致（居酒屋大サーカス）



全国47都道府県を横断し、ご当地料理を競う「居酒屋大サーカス」を新潟に誘致するため県としての支援を要請。また新潟市にも働きかけ

た結果、県・市ともに補助を受け、全国から多くの方々を迎い入れ、大盛況で終了することが出来ました。また新潟大会の大会会長として務めさせていただきました。

●社会資本整備(河川・海岸) 地域の皆様の安心・安全でより豊かな生活のため、あらゆる環境整備に取り組んでいます。

河川整備



県議1期目から取り組んでいる、西川の護岸整備の進捗状況を船上から調査。さらに整備を進める必要性と、地域住民の努力やコミュニティの重要性を改めて実感しました。地域からは左岸側の整備も要望されています。

[上空からのぞむ]



●中野小屋地区の河川整備



海岸整備



例年行っている、五十嵐・内野上新町地区の海岸浸食についての要望活動。人工リーフ設置後の調査も継続していくよう訴えました。人工リーフ設置に関しては、12億もの予算を掛け設置しましたが、成果が出るまで時間がかかるため、長期的な検証をする必要があることを訴えております。



五十嵐地区の人工リーフ設置済の浜辺。徐々に砂が付き始めているが、冬になると浸食され、砂が無くなるという繰り返しであります。さらなる検討が課題であり、研究をする必要を強く実感しました。



五十嵐地区の緩傾斜護岸の破損状況を現地にて調査。補修ではありませんが、予算付けが出来たことにより、現状復旧が実施されました。

●郷土愛、復興・災害支援、教育、拉致問題、地域間交流、コミュニティ

政治と生活、若者の政治参画、震災復興や災害対策、教育無償化や奨学金制度、さらには拉致問題など、様々な課題や問題解決のため日々活動しています。



政治と生活の関わりや投票行動の重要性、街づくりについての講演。1時間の講義の後、質疑応答をさらに1時間いただき、若者への政治参加と生まれ育った地域貢献についてお話しました。



糸魚川市の若手経済人との意見交換。大火からの復興への取組みや、新しい街づくりについての議論を行い、県への要望としてまとめることが出来ました。さらに地域の未来を創るのは、地域の若者であるという意識を高める機会となり、有意義な調査となりました。



県内の大学にて教育についてのパネルディスカッションに自民党を代表し参加。与野党の代表として、教育無償化や奨学金制度の在り方、さらには多くの質問・意見もいただき、今後の教育体制について検討する良い機会となりました。



拉致事件についてのパネルディスカッションに参加。当日は若者代表として大学生との意見交換や、今後の効果的な取組みについても議論を重ね、日本で最も多くの拉致被害者を出した新潟県として、風化させてはならない旨を訴えることが出来ました。



北信越地区の若手県議会議員との意見交換。本県の利便性や他県との連携から、さらに飛躍する新潟県になるために検討を進める結果となり、近隣県にリードされている現在の新潟県の課題や、必要な取組みを模索する機会となり、議会でも反映させることが出来ました。



各地区でも県政の重要性や取組み、地元の意見聴取を行い、わかりやすく説明をしたうえで、多くの意見を汲み上げてきました。